

2018年度事業計画

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding

目的 世界の中、とくにアジアの中の日本を知るため、日本の歴史や現状を学び、国際理解を深める

対象 学生(大学生、大学院生、留学生など)、青年

内容 日本の学生、留学生、若者が国内外のプログラムに参加する際の事前学習として位置付け、議論できる力を育む

①沖縄フィールドワーク事前学習

②アジア市民社会教育ネットワーク(CENA)プログラム事前学習

③東アジア次世代リーダーシップ育成プログラム(SEAL)事前学習

期間：各フィールドワーク実施前数週間

■沖縄フィールドワーク

目的 沖縄戦の歴史と在日米軍基地問題について理解を深める

対象 学生(大学生、大学院生、留学生など)、青年

内容 沖縄戦跡、在日米軍基地、辺野古等での体験学習、沖縄の歴史、現状についてのレクチャーなど

期間：5月上旬の4泊5日現地訪問、6月に事後学習、報告書作成、報告会開催

参加者：15名

■CENA(Civil Society Education Network in Asia)夏期学校(共催)

目的 アジアの歴史を学び、各国の情勢や社会問題を討議し、武力によらない平和構築に向けて学生が学び合う

対象 大学生、院生

内容 韓国・済州島にて開催予定、受け入れは国立済州大学。現地フィールドワーク、レクチャー、討議等をおこなう

期間：8月開催予定、9月に事後学習、報告書作成

参加者：奉仕園より5名募集、全体で40名を予定

共催：早稲田奉仕園、恵泉女学園大学、聖心女子大学、聖公会大学校(韓国)、韓神大
学校(韓国)、世新大学(台湾)、Asia Muslim Action Network(タイ)、イスラ
ム大学(インドネシア)

助成：庭野平和財団

■SEAL(東アジア次世代リーダーシップ)育成プログラム

目的 宗教間・国家間の壁を越え、問題解決のために努力し、東アジアの共同の未来を構
想するリーダーシップの育成

対象 青年、若手社会人

内容 調整中

期間：2月開催予定

参加者：奉仕園より2名、全体で30名

主催：日韓宗教者平和フォーラム

主幹：ARI(Asia Regional Initiative)

■中国延辺大学との相互研修(訪日プログラム)

目的 日本語を使う機会、日本文化・社会を理解する機会の提供を通じて 新たな刺激を得
てより広い視点で「日本」を理解してもらう

対象 延辺大学学生

内容 企業見学、団体見学、文化体験、レクチャー、日本人学生との交流会等

期間：7月開催予定

参加者：7～8名

■中国延辺大学との相互研修(訪中プログラム)【新規】

目的 中国延辺を訪問し、地域の歴史、文化を知る。同年代の青年たちとの交流を通じグロ

ーバルな視点を養う

対象 大学生・青年

内容 歴史事跡見学、延辺大学訪問、文化体験、レクチャー、中国人学生との交流会等

期間：8月開催予定

参加者：5名

■韓国ハンバット大学日本インターン研修

目的 日本語学科で学ぶ学生の日本の企業・団体、社会、文化に対する理解を深め、将来日本関連の就職を考える学生のキャリア形成の一助とする

対象 韓国ハンバット大学日本語学科学生5名

内容 都内及び近郊の企業、NGO、公益団体等でインターンを実施、奉仕園は受入れの窓口となる。奉仕園施設に宿泊し、友愛舎生など日本の学生との交流もはかる

期間：7月～8月中旬の4週間

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

目的 日本の伝統文化や風習の体験を通じての国際理解促進、日本の大学生と留学生の交流の場を提供し、充実した留学生活を送れるようサポートする。また在日外国人への文化体験の機会を提供

対象 奉仕園寮生、早稲田大学留学生ほか大学生、日本語ボランティアの会で学習の外国人

内容 (6月)歌舞伎鑑賞@国立劇場、(8月)隅田川花火見物@日本基督教団東駒形教会、(11月)紅葉狩り@高尾山、(1月)早稲田教会と合同餅つき。このほか、3号館1階ロビーにてカフェを月2回開催し、茶道、七夕、生け花、書き初め、豆まき、ひな祭りなど季節のイベントも実施、日本と外国人留学生が交流できる機会、留学生活の悩み相談などをできる機会を作る

■共感し共に歩む韓国スタディツアー【新規】

目的 日本と韓国の間には、植民地支配の責任問題がありながらも、互いに共通する課題、それぞれに固有の問題がある。それらの問題に、韓国の人々はどのように解決しようとしているのか。ソウル周辺のいくつかの現場を訪ねて、取り組んでいる課題や実践

の状況を学び、私たちの暮らす日本に大切なヒントを持ち帰りたい

対象 学生、社会人

内容 韓国の人々に共感し、ともに歩みを進めるスタディーツアー。民衆運動の現場、格差問題、若者たちはいま、板門店訪問、統一問題を考える等々。7月下旬に STUDY HALL にて事前学習、11月頃リユニオン兼 STUDY HALL にて事後学習

期間：8月20日～24日の4泊5日

参加者：15名程度

■STUDY HALL！

目的 単発の講演会、映画上映会、料理(レシピ)教室、ワークショップ、フィールドワークなどの単発イベントを束ねる枠組み。まなび舎の4つのカテゴリーに沿い、「おもしろい学び」の空間を目指す。

対象 学生、社会人

内容 奉仕園の中で臨機応変に設定できる講座として、共催や持ち込みプログラムを取り込んで講座の幅を広げる。寮に滞在の留学生、研究員による講演、セミナーハウスのチャリティー古本市との連携も視野に入れて企画

期間：年間8乃至10回程度不定期に開催

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

目的 留学生や在日外国人への日本語教授を通じて、日本での生活のサポートを行う。またボランティア活動を通じて国際交流をはかる

対象 ボランティアは奉仕園日本語教師養成講座修了者。学習者は日本語学習を必要としている10歳以上の方

内容 ボランティア講師が日本語を必要としている学習者にボランティアで日本語を教える。課外活動、学習者発表会、新年会、研修会など随時行う。会報も年2回発行。2018年度に水曜クラス20周年、金曜クラス15周年を迎える

期間：通年(8月休み)水曜日3クラス、金曜日1クラス

■早稲田ネットワーク外国人無料生活相談会

目的 日本社会で暮らす在日外国人の行政や教育制度活用を支援し、共に生きる社会を実現していく。大学生のボランティアを募り、NGOなどの民間団体の役割の重要性を学び、使命感を持つ次世代の育成も視野に入れる

対象 運営は大学生・院生、社会人ボランティア、相談者は在日外国人

内容 早稲田奉仕園を会場に、生活・労働・教育の分野で相談スキルを持つ個人が集まって、在日外国人への無料相談窓口を開設、様々な相談業務に当たる

日時：年4回(5月、8月、11月、2月)第2日曜日午後1時～5時

■災害被災者支援ボランティア活動

目的 災害の支援ボランティア活動に参加し、被災地や被災者の状況を知り、共に生きる社会を実現していく。防災や減災の意識を醸成し、自然災害に対してどのように向き合っていくか、自助と共助の精神を養う。東日本大震災に関連したボランティア活動を継続し、被災者の課題を理解する

対象 大学生、院生、留学生ボランティア

内容 ①夏の富士山登山プログラム(=学寮事業部第8回富士山登頂研修旅行に同じ)

NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクトと協力し、学生と被災者の方々と富士山の山頂を目指す。登頂する達成感を味わうことで子どもの自己肯定感を育み、留学生との国際交流の機会を提供する。

参加者：学生及び被災家族計20名程度

期間：8月中の2泊3日(1泊は山小屋)

協力：日本YMCA同盟東山荘

②災害発生時、信頼できる受入先がある場合に初期のボランティア活動に参加する(2015年鬼怒川決壊により茨城県常総市水海道でボランティア派遣、2016年熊本地震への学生ボランティア派遣)

■野宿者支援給食活動(共催)

目的 野宿者、生活困窮者の方々へ食事や保存食、支援物資を渡すボランティア活動を通して、格差社会や貧困、生存権の問題を身近に感じる。あわせて学生のリーダーシップを育成する

対象 大学生、院生、留学生、社会人ボランティア

内容 奉仕園 1 号館 2 階ロビーと日本福音ルーテル本郷教会／本郷学生センターにて、ボランティアが協働し、150 人分の食事、保存食、支援物資を準備。配食活動は渋谷区役所近くでミーティングを行って開始。偶数月には配食後のドリンクタイムで、ボランティアの弁護士や司法書士による相談会を行う。保存食はNPO法人セカンドハーベストジャパン、キリスト教学校、東京都などから提供いただく

日時：月 2 回(原則第 1、第 3 日曜日)午後～夕

共催：早稲田奉仕園、日本福音ルーテル本郷教会／本郷学生センター、
日本キリスト教団早稲田教会

■アジア市民活動助成金(仮称)

2018 年度に有識者による委員会を設け、助成制度の目的、対象、制度設計、財源、定款目的との兼ね合い等を検討し、助成実施の可否を判断する

(趣旨)アジア語学講座を終了するにあたり、奉仕園のアジアへの取り組みを市民活動を支援するという形で継承する。奉仕園が助成対象活動を共に学び、支えることを表明する。セミナーハウスを活用し、奉仕園がアジアに開かれた場所ということを共有する。個々の市民団体、およびグループがそれぞれの目的と活動をより充実させるための一助とし、小さくとも私たちにその活動や団体の意義を気づかせ、共に発展していける団体を支える

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語

目的 通学式の教室、受講生の減少により、1973 年創設のアジア語学講座は本年度で一区切りとする。引き続きアジア関連のプログラムはスタディーホール、スタディツアー等

の枠組みで継続していく

対象 社会人、学生

内容 ・通常クラスはベンガル語3クラス、ヒンディー語2クラスを開講
・集中講座(土曜午前全4回12時間程度)、特化講座(韓国語通訳、翻訳など)を開講

■日本語ボランティア養成講座

目的 年々外国人が増えてきている中、それぞれの地域に居住する外国人が暮らし易いように、また、日本語を介してコミュニケーションができるように、日本語を外国人にボランティアで教えるノウハウを学ぶ

対象 学生、社会人

内容 外国人に日本語を教えるノウハウを学ぶ講座。初級Ⅰ、初級Ⅱ、中・上級を1年かけて学ぶ。初級Ⅰ終了後からボランティア活動が開始できるようになる

期間：初級Ⅰ4月～7月全15回

初級Ⅱ10月～12月全11回

中・上級2月全4回

講師：山本和子(武蔵大学・防衛大学校、非常勤講師)

■Let's 朗読

目的 詩や物語の世界で感性を磨きつつ朗読の基本を学ぶ。スキルを様々な場で活かす

対象 学生、社会人

内容 ストレッチで体をほぐした後、発声練習で発音や発声をクリアにし、作品に取り組み、詩や物語を感じながら朗読する。小さな作品から朗読に取りくんで発表会などで発表

期間：前期・後期の2期制各期8回

講師：飯島晶子(朗読家・「VoiceK」主宰)

■スコットホールでゴスペルを歌おう

目的 歌を歌うことにより受講者本人が元気になる。メンバーとのハーモニーを楽しみつつ、発表会や地域・デイケアなどの施設でボランティアとして披露する

対象 社会人、学生

内容 スコットホールで思い切り声を出し、合唱を楽しんで元気になる！ストレッチ、ボイストレーニングをし、シーズンの課題曲(講師によるオリジナルアレンジ曲)を練習

講師：藤子(プロシンガー)

期間：シーズン1(4月～6月)、シーズン2(7月～9月)、シーズン3(10月～12月)、
シーズン4(1月～3月)の各シーズン7回

(4月)新宿区のレガスまつり出演、(8月及び12月)介護老人ホーム等でのボランティアプログラム、(12月13日)スコットホールでのクリスマス発表会

■聖書講座 - 新しい聖書の学び『マルコ福音書をジックリ読む(Part1)』(共催)

目的 聖書のメッセージの今日的意味を学び、自らの人間形成に役立てる

対象 学生、社会人

内容 『マルコ福音書を読む』最初の福音書といわれる「マルコ福音書」を少しずつ丁寧に読み進める。フェミニスト、ポストコロニアル、クイア、障碍の神学などからの新しい読み方も紹介。「温故知新」のような学びを通して、当時の人々のことも、私たちの人生も、新しく一緒に思い巡らす。一つの解釈を絶対化せず、「信じない」自由も尊重し合う、楽しい学びとする

期間：通年毎月第2火曜日全10回

講師：山口里子(日本フェミニスト神学宣教センター共同ディレクター)

共催：早稲田奉仕園、日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

(4) 学寮運営事業(友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

目的 「学舎に集う一人一人が互いに仕え合い、共に生きる中で研鑽を重ね、人生の求道者として生きる」友愛学舎の精神に則り、共同生活を積極的におこない、友愛学舎及び奉仕園の活動に自発的に参加し、これらの交わりを通して自己形成を志し、大学生活の充実をはかる

対象 4年生大学学部生

内容 舎生：2018年度は新1年生4名を募集。4年生3名、3年生3名、2年生3名を含め
13名を予定

活動：朝の会 学期期間中の月曜日から金曜日の7時から7時30分まで。聖書研究及
び学生発表等を行う

舎生会 毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合う

年間活動 (3月)新年度入舎式及び1泊オリエンテーション(千葉)寮生活の意義
や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ、(5月)友愛・信愛・山手3学舎交
流会、(6月)年中行事を楽しむ会歌舞伎鑑賞引率、(9月)Friday Night
企画運営、(11月)年中行事を楽しむ会紅葉狩り引率、(3月)卒舎式
このほか、早稲田奉仕園はじめ関係団体主催のプログラムに随時参加

指導：カウンセラー福山裕紀子牧師(早稲田教会副牧師)、古賀博牧師(早稲田教会)、
大矢直人牧師(東京平和教会)、中澤重光牧師(米国福音自由教会宣教団)

■キリスト教学生寮懇談会

目的 キリスト教学生寮の運営担当者が集まり、寮活動の情報交換、学習会等を通じて学び
合い、寮運営の充実をはかる

対象 都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮(現在9団体)

内容 年数回の会合をもちまわりで開き、寮の課題、寮生募集等について話し合う

■ゲストハウス

目的 日本での寮生活を通じて豊かな人間形成を目指す。また、経験・体験を通じて日本理
解をし、同時にグローバルな感覚を身につけ国際的視野にたつ青年の育成を目指す

対象 外国人留学生

内容 ・教育寮機能を有する寄宿舍7室の管理運営
・国際交流、国際理解サークル活動を通じて国際相互理解の促進を行う
・友愛学舎とともに奉仕園の活動に参加することによってリーダーシップを養う

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

■国際学舎

目的 多国籍の学生が日本で寮生活をするにより豊かな人間形成を目指す。また、プログラムを通じて日本理解を深め、同時にグローバルな感覚を身につけ国際的視野にたつ青年の育成を目指す

対象 早稲田大学の外国人留学生・研究員

内容 ・教育寮機能を有する寄宿舍 152 室の管理運営
・国際交流・国際理解サークル活動を通じて国際相互理解の促進を行う
・レジデントアシスタント・早稲田大学・近隣交換留学生寮との情報共有、連繫に努める。入居時における寮の入居カードのデータベース化を継続して実施、レジデントアシスタントとの連絡ミーティングを原則月 1 回実施(安心・安全な寮生活のための連絡体制の確認)、近隣留学生寮(早大寮・西早稲田寮)との連携強化

■留学生健康相談室の運営

目的 寮生の疾患予防や初期段階での対応をはかり、健康な寮生活の維持をはかる

対象 早稲田奉仕園寮生

内容 必要に応じての個別相談、医療機関の紹介および連絡、早稲田大学との連携、緊急時の対応、ケガの応急処置、感染症に関する情報提供および予防呼びかけ、既往歴患者へのフォローアップ

開室時間：週 2 日予定

■FRIDAY・NIGHT & 奉仕園クリスマス会

目的 留学生、日本人を含め奉仕園内の寮で生活をする学生の親睦をはかる

対象 早稲田奉仕園寮生

内容 ・Friday Night は 4 月及び 9 月入寮時に実施するパーティー。9 月は Japanese Night として友愛学舎がホストを務める
・クリスマス会は 12 月 8 日に開催、寮生によるアトラクションや静かなときを中心に交流パーティーを実施

■第2回北海道研修旅行

目的 北海道三笠市及び札幌市を訪問し、史跡散策、学校訪問などを通じ現地の文化に触れ、人々との交流をおこなう。都会では経験することのできない豊かな自然に触れ、日本の自然環境への理解を深める

対象 早稲田大学在籍の外国人留学生

内容 三笠市の炭鉱遺跡見学、地元の高校生・小学生との交流、札幌市内見学など

参加者：留学生12名、RA

期間：冬季の2泊3日で検討

協力：三笠市教育委員会

■第8回富士山登頂研修旅行

目的 東日本大震災被災者支援活動を兼ねるプログラム。富士山の自然に触れつつ、国際交流をしながら、学生・被災者親子等参加者全員で山頂をめざす。登頂する達成感を味わうことで子どもたちの自己肯定感を育む

対象 早稲田奉仕園寮生ほか大学生・院生・留学生、東日本大震災被災者の方

内容 1日目はYMCA東山荘にて富士山のこと、登山の知識等のレクチャーを受ける。翌日より1泊2日で山頂をめざす

参加者：学生及び被災家族計20名程度

期間：8月中の2泊3日(1泊は山小屋)

協力：日本YMCA同盟東山荘、NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクト

■ホームビジット

目的 日本人家庭を訪問し、一般的な日本人の暮らしを体験する。ホストファミリーとして迎えていただくご家庭には、異文化、異世代の若者と交流することにより、新しい出会いを楽しんでいただく

対象 早稲田奉仕園寮留学生

内容 ホストファミリーとして留学生をご自宅に招いてもらい、食事を一緒にし、近所の公園、スーパーマーケットなどを案内。留学生の関心に合わせて、一緒に食事を作った

り、お茶、活け花などのプログラムやおしゃべりを楽しんでもらう。このほか、音楽会、芋掘り等にご招待をいただいている

期日：前期 6 月 9 日～7 月 1 日、後期 10 月 27 日～12 月 2 日

協力：早稲田奉仕園OB OG、早稲田教会、日本語ボランティアの会、稲門会ほか

■第 3 回留学生インスタ写真展

目的 留学生にとって新鮮に感じたこと、驚いたことを知り、他文化との相互理解を深める

対象 日本に住む海外からの留学生

内容 日本に住む海外からの留学生に SNS インスタグラムでテーマに沿った写真を投稿してもらおう。写真家北田英治氏と早稲田奉仕園で選考し、受賞作品を決定、表彰する

協賛：高山国際教育財団、万座温泉日進館万座温泉ホテル

■Cooking Exchange Program【新規】

目的 各国の料理を共に作り、共に食べることを通じて国際理解を促進する

対象 早稲田奉仕園寮生

内容 各国の料理を共に作り、共に食べる

期日：年 4 回実施予定

参加者：1 回あたり 15 名以内

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

礼拝堂、教会事務所、宣教師館・牧師館としての施設貸出し、月極駐車場及びNGO事務所の賃貸

■施設管理受託事業

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■施設の貸与(会議室・ホール・ギャラリー)

目的 施設の貸与を通して市民や学生をはじめとするお客様に、出会いと活動の場を提供し、それぞれの活動の促進を図る。また収益事業として財団運営を財政的に支える

対象 市民団体、NGO、NPO、民間企業、キリスト教団体、学生団体、個人ほか

内容 ・会議室、ホール、ギャラリーの利用は学習会、語学教室、音楽練習やコンサート、アートの発表展示、CMやTVドラマのロケなど多岐に渡る。東京都歴史的建造物として選定されているスコットホールの動態保存にも努める

■セミナーハウスプログラム

目的 文化的イベントの主催、公益活動実施団体への協賛を通じて、市民活動の活性化をはかる。また、スコットホールの文化財としての価値を高める

対象 市民団体、NGO、NPO、キリスト教団体、学生団体、個人ほか

内容 早稲田スコットホールギャラリーにて年数回の企画展示、チャリティ古本市(年2回収益は公益団体へ寄付)、東京都文化財ウィークに参加しスコットホール公開、東京都都市整備局チャリティコンサート、ほか

3. 事業共通業務

■事業評価

「参加型評価」の手法により、事業の目的、効果等を再検証し今後の改善や新規プロジェクトの立案に役立てる。2018年度は個々の事業に焦点を当てた評価に取り組む

■広告・宣伝

引き続きフェイスブック、ツイッター、ブログ等多彩なメディアの活用を促進する。また、効果的な広告や宣伝方法を模索し、奉仕園の情報発信力を高める

■施設管理

おもな施設更新、備品購入等は次のものを予定している。

公益事業 国際友愛学舎 3 号館電気量計交換
国際友愛学舎 3 号館給湯器交換
収益事業 スコットホールオルガン設置基礎工事
リバティホール音響設備更新
事業共用 ベニンホフ記念館 5 号館通用口改修工事

4. 法人総務

■広報

奉仕園通信の発行は年 2 回を予定

■賛助会員・寄付金

本年度も引き続き賛助会員の獲得にあたるほか、奉仕園通信発行に合わせて寄付を募る

■財団会議

理事会：第 1 回定時理事会(6 月 6 日)、第 2 回定時理事会(3 月)

評議員会：定時評議員会(6 月)

常任理事会：数回開催

このほか必要に応じ、臨時理事会、評議員会、評議員・理事・監事懇談会を開催する

■監査

監事監査(5 月、11 月)及び監査法人監査(5 月、11 月、3 月末)

■早稲田正午礼拝

近隣教会、団体有志による礼拝を毎月 2 回おこなう

■キリスト教施設長会議

施設長会議を 2019 年 1 月に開催予定(会場沖縄ぎのわんセミナーハウスを予定)

■資金調達及び設備投資

(1) 資金調達の見込みについて

資金調達の予定はない

(2) 設備投資の見込みについて

おもな施設の改修、設備の更新は下記の通りである

建物建設支出	スコットホールオルガン設置基礎工事	5,350,000	(収益 2)
建物建設支出	5号館通用口改修	1,500,000	(公益・収益・法人共用)
	建物建設支出計	6,850,000	
構築物支出	国際友愛学舎3号館電気量計交換	5,700,000	(公益)
	国際友愛学舎3号館給湯器交換	1,100,000	(公益)
	構築物支出計	6,800,000	